

## 第2回 ひらふ地区駐車場再整備に係る有識者会議の概要

日時：平成29年4月26日 午後1時30分

場所：倶知安町役場 3階会議室

### 1 開会

○4月の人事異動で新しく有識者委員となった方の紹介

浅上委員（役場・観光課長） ⇒ 福家委員（同）

本田オブザーバー（後志総合振興局・地域政策課長） ⇒ 矢野オブザーバー（同）

○第1回有識者会議を欠席した、オブザーバー委員の国土交通省・北海道運輸局札幌支局の中山首席専門官が今回出席したので、改めて紹介した

### 2 議事

#### (1) I ひらふ第一駐車場の課題の整理

第1回目の有識者会議で説明した、「ひらふ第一駐車場の再整備の背景」と「ひらふ第一駐車場の課題の再整理」について再度確認を行い、第一回目の有識者会議終了後、各団体で出た意見等のフィードバックを行った。特にフィードバックする意見は出なかったので、検討フェーズⅠ・ひらふ第一駐車場の課題の整理を終え、検討フェーズⅡに入る了承を得た。

#### (2) II ひらふ第一駐車場の形状と駐車台数について

##### (1) 現在の課題を解決するための駐車場の形状

検討フェーズⅡ・ひらふ第一駐車場の形状と駐車台数についての説明を行う。今回は、冬季間の混雑を解消するため、バスレーンやバス乗降所、送迎車・タクシー待機所など、現在の第一駐車場にない施設を設置すると駐車可能台数が減ることになることから、冬期間の混雑解消と安定的駐車台数を確保することは相反する課題であり、この相反する課題を解決する1つの方法として、交通ターミナル機能をサンスポーツランドに分散する案について説明した。

特に、ツアーバスについては、現在、全てのツアーバスの発着点が第一駐車場になっており、各宿泊施設の送迎車が第一駐車場に集結することで、冬季間の混雑のひとつの要因になっていることを説明。ツアーバスの第一駐車場での発着本数を減らすことで、送迎車の待機スペースを小さくでき、その分駐車台数を確保できる旨の説明を行った。

現在の再整備計画案では、ツアーバスは全てサンスポーツランドを発着点とすることになっているため、説明後、関係する委員から意見を聞いたほか、ツアーバスが第一駐車場に上がらない、という計画案について各委員に持ち帰ってもらい、各団体からの意見を次回の有識者会議でフィードバックしてもらうこととした。

### 3 閉会